

補助金評価シート(平成20年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
97009	文化財施設修復補助金	教育委員会	文化係	林 一昭	小澤靖一	
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 23 日	連絡先(内線)	2507	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	1067	文化財保護事業	
	第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	まなび合う社会の創造	
		節	(コード選択)	3節	地方分権化に積極的に対応する	
		項[基本施策]	(コード選択)	531	文化遺産の保護と伝承	
		主な取り組み	(コード選択)	5311	文化財の保護	
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input checked="" type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
	補助金の期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 継続 (開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	
	補助金の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> 大会運営費補助	<input type="checkbox"/> 利子補給	<input type="checkbox"/> その他()
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令	<input checked="" type="checkbox"/> 条例規則	<input type="checkbox"/> 要綱等	<input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)	
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助	<input checked="" type="checkbox"/> 決算補助	<input type="checkbox"/> 定率補助	<input type="checkbox"/> 定額補助		
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助	<input type="checkbox"/> 国・県補助あり	(町 / 10)	(県 / 10)	(国 / 10)	

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)(Plan2)

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input checked="" type="checkbox"/> 企業や団体	<input type="checkbox"/> 個人
----------------------------------	-------------------------------	---	-----------------------------

(交付団体名 : 沢底区)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいですか。

町指定文化財「山寺の毘沙門堂」を修復し、地域の文化遺産として保護・保存・活用する

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	所有者が負担する修復費用の不足額に対して補助金を交付する
2	

(3) 補助金事業の実績【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度 (見込み)		年度 (見込み)	
①	指標名	町指定文化財修復補助金		千円	0	580	0
	説明	町指定文化財を修復するための補助金		目標値設定の根拠	文化財施設修復に係る費用のうち、所有者が負担する費用の不足額を予算の範囲内で交付		
②	指標名						
	説明			目標値設定の根拠			

(4) 交付額実績/計画の推移【Do2】

		平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度								
補助対象経費(円)					5,611,000														
補助率					10.34%														
交付額(円)					580,000														
財源内訳	国庫支出金																		
	特定財源																		
	県支出金																		
	地方債																		
	その他																		
一般財源					580,000														
人件費の概算								(千円)			平成19年度 決算	平成20年度 決算	平成21年度 見込み	平成22年度 見込み					
対前年比								%			0	79	0	0					
											エラー:503			0	#VALUE!				
		課長		課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費				
		H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22					
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	79	0	0
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート										0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	明治以降ほとんどの集落で堂や庵が取り壊されていった中、ただでさえ数少ない堂建築のなかで町内最古のものとして貴重であり、永く保存しなければならないため
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	人々の生活と深くかかわり、地域の景観の主要部分を担ってきた堂を、後世の子どもたちに伝えるという責務があるため
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	地域の文化遺産を保護するため
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	B	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	文化財の修復は所有者が行わなければならないため
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	補助金等交付申請書及び補助事業等実績報告書が提出されているため
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	適正に修復され、毘沙門堂を保護・保存・活用し、後世に伝えることができるため
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	B	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	指定の有無を問わず、文化財の維持は所有者の負担となっている。今回の修復は所有者である沢底区民が多くの負担をしているため
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	条例では文化財の修理にかかる経費について補助できる規定はあるが、所有者負担が原則であるため、資金計画について所有者と協議した
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		地域の誇れる文化遺産を守ることができた		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	21年度予算見積書への反映	<input type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
文化財施設修復に係る補助金について、教育委員会事務局が、事業が発生する都度、町の補助金規則等を説明し、所有者と協議する	[反映内容]				

(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
文化財の補修費用は、所有者負担が原則ではあるが、個別の事情を勘案し必要な援助はできるよう検討する。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

c 上記 a ~ c を選択